



キャリアナビ通信

令和3年7月14日 VOL4

名古屋市立植田東小学校

キャリアナビゲーター

鎌先 恵美子

世の中では技術の進歩により、様々なモノやサービスが生まれており、生活はますます便利になっています。そして、モノやサービスが生まれたことで、新しい職業も生まれています。では、どんなモノやサービス、職業が生まれているのでしょうか。一部をご紹介します。

新しく生まれたモノやサービスと職業



ユーチューブ
【YouTube】



【ドローン】



ブイアール
【VR (バーチャル・リアリティ)】



エーアイ
【AI・ロボット】

ユーチューバー
【YouTuber】
ユーチューブ
YouTubeで、
情報を発信する職業

【ドローン操縦士】
ドローンを
操縦する職業

ブイアール
【VRクリエイター】
実際にはないけど、目の前にあ
るような、映像を作る職業

【ロボット設計技術者】
ロボットやAIの設計
からデザインまで行う職業



じどううんてんしゃ
【自動運転車】

クイズだよ!

どんなことが、できるかな?

イラストにあてはまる説明を下から選び、番号をふきだしの中に書いてみましょう。いくつわかるかな? (答えは裏面)

- ① 荷物を運ぶことができる
- ② 挨拶や会話をしたり、家事を手伝ったりすることができる
- ③ インターネットを利用して自由に情報を発信できるサイト
- ④ 自動で加速や減速をしたり、ハンドル操作したりすることができる
- ⑤ 目の前とは違う世界を見たり、体験したりすることができる

【これからの時代、どんな職業が必要になるのだろうか?】

20年後の未来、「約49%の職業が人工知能やロボットに代わってしまう」と言われています。その一方で、時代の変化と共に社会で必要とされるモノが生まれると同時に、新たな仕事も生まれています。職業を調べる時、「興味がある」や「好きなこと」に加えて、「今の社会に必要とされる職業はなんだろう?」と考える視点も大切です。

キャリアナビ通信

2021年7月号

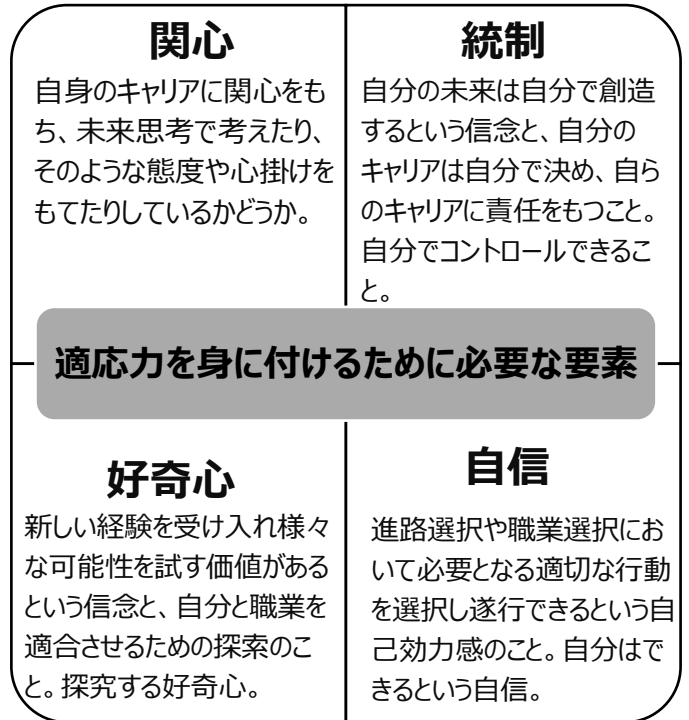
発行：植田東小キャリアナビゲーター 鎌先 恵美子

コロナ禍、自粛という言葉が当たり前のように聞かれ、様々なところで制限がかかる今、それでも子どもたちは体も心も成長し続けています。VUCA時代※と言われる今だからこそ、予測不可能で不確実な未来に向かうこれからのキャリアの考え方について、お伝えしたいと思います。

～ 社会環境が絶えず変化し続ける時代に必要な力 ～

キャリアアダプタビリティとは、絶えず変化していく環境を柔軟に受け入れ、適応していける能力のことをいいます。日本語では**適応力**といいます。適応と聞くと外的要因がイメージとしてわかりやすいですが、キャリアアダプタビリティは、キャリアは決して受け身の姿勢ではなく、主体性や自己効力感などに基づくとしてされており、適応力を身に付けるために必要な次元として4つあげられています。(右図)

広義の(業務委託で所得を得ている人)の割合は年々増え続け、現在では2000万人を超えています。終身雇用の時代を経て、社会環境の変化とともに働き方が多様化する今、変化を受け入れ、柔軟にキャリアを変えていける力が必要です。



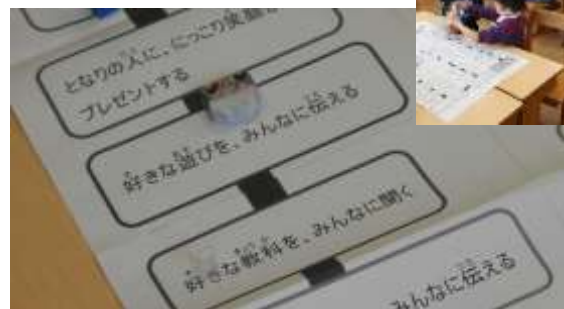
※ **VUCA時代**…変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の英単語の頭文字をとった言葉で、VUCAの状態が続き、既存の価値観やビジネスモデルなどが通用しない時代のこと。

1 学期ライフキャリアにつながる授業を実施しました

道徳の時間に実施させていただいた、ライフキャリアにつながる授業内容をご紹介します。よろしければ、お子様との対話の話題にさせていただきます。

【特別支援学級・1～5年生】自己しょうかいすごろく (人間関係・社会形成能力)

すごろくのコマには、「〇〇をみんなに伝える」や「〇〇をみんなに聞く」「となりの人にニッコリ笑顔をプレゼントする」など、コミュニケーションをとる内容が書いてあります。友達に、たくさんの質問が出るグループもあり、活発な対話が生まれていました。



(自己しょうかいすごろくと授業風景)

【6年生】職業の歴史と将来を考えよう(キャリアプランニング能力)

パソコンの職業検索システムを使いながら、現在どんな職業が縮小傾向にあるのだろうか？その理由は何だろうか？など、将来の職業について考えました。授業の最後には「自動運転車が造られているから、運転手という職業が縮小傾向だと思う」「ドローンで荷物を運べるようになっていくから、運送業は縮小傾向だと思う」など根拠にひもづけた意見を伝えてくれました。時代とともに職業が変わることを感じた。という感想を伝えてくれたお子様もいらっしゃいました。